

Ⅱ 拠点館事業

平成 24 年度 市直営事業実績

1 生涯学習事業研究

生涯学習事業の現代的課題について、具体の先進的事業の事例研究として「調査」・「研究」・「分析評価」・「成果の活用」等を実施する。

(1) 若者によるまちづくり実践塾

20代・30代を中心とした若者の「自分づくり」を支援するとともに、今後のまちづくりを担う世代に、地域づくりへの関心を高めてもらい、社会の一員として主体的な参加を促すことで、地域活性化を目指すことを目的として、平成22年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

①「若者によるまちづくり実践塾」

＜青葉区中央市民センター＞（受講生9名 大学生、高校生他）

平成23年度末に発行したフリーペーパー「SANPO」の各大学や関係機関への配布を通して、フリーペーパー第2弾発行へ向けた企画を進めるとともに新規受講生の勧誘作業を行った。

11月10日には、仙台圏で活動している若者を主体とした各種団体の活動紹介及び社会参画を考えている若者と各種団体とのマッチングを行う機会としての第3回情報屋台村（参加団体数：20団体）を開催し、各団体及び一般参加者との新たな絆づくりを行った。

②「EASTプロジェクトー若者によるまち育て実践塾」

＜宮城野区中央市民センター＞（受講生26名 社会人等）

平成24年9月から26名参加の講座を市中央市民センターを会場として実施。平成23年度までの受講生やサポーターも参加する中で、まち歩きやワークショップを経験しながら、地域の方々と交流できる場は何か、まち育てとは何かを自分たちで考えていった。そして3班に分かれて企画案を作成し、12月1日に発表会を実施。最初の企画として、12月15日に区民協働まちづくり事業の「Winter Party in榴岡公園」のイベントとして『Candle Night』を開催し、来場者と交流を深めた。次に、残りの企画も『まちあるき×フォトコン』としてまとめ、平成25年度4月の実施に向け準備を進めた。

③「若林ヤングコミュニティ楽園ー仙白園プロジェクト人」

＜若林区中央市民センター＞（受講生27名 大学生他）

当センターが養種園（実験農場の役割を担っており、仙台白菜を誕生させた）跡地に立地していることにちなんで、仙台白菜を主な題材に、若者を中心とした参加者が敷地内の畑で作物を育てることを通して交流を図る事業。活動は月1回程度で、平成24年度は、春から夏にかけてはミヤギシロメなど豆類、8月からは仙台白菜を育てた。畑作業のほか、区内のみなし仮設住宅にお住まいの方を招いて収穫した白菜を料理して食べる会を開いたり、地域の高齢者宅や仮設住宅に弁当を配達しているNPO法人に収穫した白菜を贈ったりすることで、作物を育てる活動を社会・地域につなげることを試みた。

④「たいはく学生まちづくりフォーラム」

＜太白区中央市民センター＞（受講生 20名 大学生他）

太白区で活動する大学生企画団体「IMAYO!!」（イマヨウ）を中心に事業を通じたネットワーク作りをすることで、仙台の若者の情報を集約・発信していくような、受発信する双方向の若者達が交流できる場を作ることを目的として、1年を通して受講生が企画した様々な事業（講座）を実施した。

また、太白区まちづくり推進課、太白区まちづくり推進協議会との共催事業である「たいはく学生まちづくりフォーラム」では、長町地区のタウンウォッチングを通して地域課題を探りながら、長町地区を中心とした地図を作成した。

⑤「若者によるまちづくり実践塾」

＜泉区中央市民センター＞（受講生 38名 ほかに小学生 26名、ジュニアリーダー10名参加）

区内に通学している大学生を中心に、受講生が泉区についてのイメージなどを整理し、自分たちがやってみたいこと、できることを企画書として作成する作業を通じて考えた。その結果、区内の大学キャンパスで「逃走中」を実施することとし、その実現のために準備を進めた。その中で、会場となる大学側へのプレゼンや事業説明、小学校へのちらし配布など一つの事業を実施するまでの過程を学ぶ機会を得た。

「逃走中」の実施を受け、受講生が大学の先生から、自らが行った活動について専門的な視点から捉え直すことができる機会を設定した。

泉区の取り組みの特徴である、集まったメンバーがチャレンジしたいことを考え、準備して実施するという流れを取り入れた事業展開となった。

⑥「若者によるまちづくり実践塾」にかかるワークショップ（中間報告会）及びフォーラム（成果報告会）

＜中央市民センター＞（合計参加者数 170名）

各区中央市民センターで実施している当該事業の参加者や担当者を対象に、報告会や情報交換会を実施することを通して各区の事業推進を支援する。平成 24 年度は、コーディネーターや助言者から各区事業の成果と課題についてアドバイスいただき、事業のブラッシュアップを図った。

ワークショップでは、静岡県立大学公認サークル YEC の学生を招き、自主的に活躍する若者活動の先進事例として発表していただいた。また、年度末のフォーラムでは、事例発表研究研修会（市民センター職員研修）として東北学院大学教養学部教授 水谷 修氏による統括講義「若者の社会参画について」を実施した。

【コーディネーター】水谷 修 氏（東北学院大学人間科学科長）

【助言者】小松 州子 氏（仙台市市民活動サポートセンター センター長）

中山 聖子 氏（特定非営利活動法人ハーベスト 代表理事）

白川 由利枝 氏（仙台市市民局市民協働推進部 部長）

※所属、役職はワークショップ開催時

⑦3年間にわたる「若者によるまちづくり実践塾」の総括事業

＜中央市民センター＞

事業担当者連絡会を年間3回実施し、各区中央市民センターの支援を行うとともに総括の場を設けた。また、ワークショップやフォーラムのコーディネーター、助言者を招いての「若者の社会参画を考える検討会」を実施した。更に各区中央市民センター事業担当者へのヒアリングを行い、それらを基に「若者によるまちづくり実践塾」報告書を作成した。中央市民センター及び各区中央市民センターの平成24年度取組についてまとめたものであるが、平成22年度からの3年間の取組もわかる内容とした。合わせて「若者の社会参画を考える検討会」での助言者の意見も盛り込み、次年度以降の中央市民センターの事業方針も示した。

(2) 住民参画・問題解決型学習推進事業

地域特性に応じた市民協働による地域づくりを推進するため、住民と市民センター職員が協働して地域課題を発見し解決につながる活動を実践することにより、そこでの様々な学びのプロセスを通して地域づくりを担う人材を発掘・育成することを目的に、平成23年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

①「地域元気クラブ」

＜青葉区中央市民センター＞（受講生25名 多世代にわたる地域内外住民、小中学校教員）

講座受講を通して、(1)地域への関心がより高まること、(2)地域活性化のためのノウハウを学んでいくこと、(3)地域づくりに必要なネットワークを学んでいくことを目的とし、講話を含むファシリテーターによるグループワークを3回、その後のフィールドワークを3回、発表・交流会を1回実施した。

②「地域の絆 再生プロジェクト・地域づくり講座『東仙台耀きクラブ』」

＜宮城野区中央市民センター＞（受講生15名）

地域の課題を発見し、課題解決につながる講座やイベントを地域住民自らが企画し実行することを支援し、主体的に地域活動を行う人材を育成することを目的とし、東部市民センターにおいてワークショップを4回、館外学習を1回実施した。

ワークショップ①11/17(土)「地域づくりについて」

ワークショップ②12/15(土)「地域の未来デザイン」

ワークショップ③1/19(土)「未来デザイン考程・現状把握」

ワークショップ④3/2(土)「未来デザイン考程・未来予測」

大人の館外学習：3/16(土)鉄道交流ステーション・柏木市民センター・ゲストハウス梅鉢

③「子どもたちに伝えたい六郷の暮らし～平成の六郷をふりかえる」

＜若林区中央市民センター＞（受講生92名 六郷地域住民の方他）

東日本大震災からの復興に際して、六郷の津波被災地域では生業と生活の再編という問題に直面していることを踏まえて企画した事業で、六郷市民センターと共催。平成24年度は、被災前の地域の生活の記憶を残し子どもたちに伝えるため、その担い手と目される20～50歳代の住民を中心に、9月から毎月、毎回テーマを決めて勉強会を実施した。

また、勉強会の成果を生かして、復興への応援の輪を広げるため、市民が六郷地域をバ

スで巡り、被災した方などのお話を伺う「六郷を訪ねる」を開催したほか、地域の歴史を確認する資料として、六郷市民センターで以前に行われた「六郷を探る会」の報告書をまとめた冊子を発行した。

④「たいはく子育て支援ネットワーク事業」

〈太白区中央市民センター〉

(受講生 308名：子育て中の親子とその支援者・団体、及びその指導にあたる専門家等)

地域に子育て支援ネットワークを作ることで、子育て中の保護者が必要としている支援を受けやすくし、また、支援を受ける側だった保護者が地域内で次第に支援する側になるための仕掛けとして“0・1・2・3たいはくおやこ広場～inながまち～”(参加者407人)と、中学生とその親世代とを対象とした講演会(フォーラム)を開催(参加者24名)することで、地域に根ざした教育力を高める。さらに、支援者側の情報交換・交流が図られ子育て支援事業の活発化に繋げるための交流研修会(参加者44名)も実施し、支援する側・される側の垣根を越えた地域ネットワークの構築を目指した。

⑤「地域共生カンパニー『支え合いのまちづくり』」

〈泉区中央市民センター〉 (参加延人数507名)

住民同士の結びつきが希薄になっていると言われていた中、東日本大震災では共助や地域の助け合いの必要性が認識された。泉区中央市民センターでは、地区館と共催で、住民が地域課題を把握して問題解決にあたる力を付けるとともに、行政や大学等とも協働しながら、地域の一体感を醸成することで地域づくりを促進するよう努めた。平成24年度は地区館2箇所を拠点にモデル事業として展開した。

【将監市民センター】 みんなの居場所をつくろう(参加延人数203名)

将監地区では、少子高齢化が急速に進み住民同士の結びつきが薄れてきている中、地域空洞化に伴う高齢者の孤立や買物弱者等への懸念が高まっている。こうした問題解決の一助として、地域の人々が互いに支え合い共に生きることを目指し、子どもから高齢者まで地域住民が自由に立ち寄り交流できる居場所を作る試みを実施した。

【根白石市民センター】 泉区西部のまち興し(参加延人数304名)

根白石をはじめとする泉区西部地区は、都市化や少子化、若者人口の流出等による地域の空洞化が懸念されている一方で、伝統ある地域団体や地域資源も豊富である。当センターではこれらを活かすべく地域の団体等による企画会議を立ち上げ、計画から実施までの過程を実践的に学ぶことを目指し、地域おこしのきっかけとして子どもから高齢者まで世代を超え幅広く関われる「凧揚げ大会」を実施した。

⑥「住民参画・問題解決型学習推進事業」にかかるワークショップ(中間報告会)及びフォーラム(成果報告会)

〈中央市民センター〉 (合計参加者数172名)

各区中央市民センターで実施している当該事業の参加者や担当者を対象に、報告会や情報交換会等を実施することを通して各区の事業推進を支援した。平成24年度は、コーディネーターや助言者から各区事業の成果と課題についてアドバイスをいただき、事業のブラッシュアップを図った。また、年度末のフォーラムは、事例発表研究研修会(市民センター職員研修)に位置づけて実施した。

ワークショップでは、各区の中間報告を聞いた参加者がグループ内で感想等を述べ合うワークを実施するとともに、コーディネーターや助言者から講評をいただいた。また、フォーラムでは、発明協会青少年創造性開発育成委員の渡邊忠彦氏に「地域課題を生かしたまちづくり」というテーマで講演をいただくとともに、助言者による同テーマでのパネルディスカッションを実施した。

【コーディネーター】水谷 修 氏（東北学院大学人間科学科長）

【助言者】 渡邊 忠彦 氏（発明協会青少年創造性開発育成委員）

照井 栄一 氏（仙台市公民館運営審議会委員）

足立 千佳子 氏（NPO 法人まちづくり政策フォーラム理事）

（3） 子ども参画型社会創造支援事業

子どもたち（小学校中・高学年、中高生）が、地域の中で役割を持ち社会の構成員として積極的にまちづくりに参加し、自分たちの地域の課題に気づき、社会・地域の一員として行動する視点を持つことで、将来的に社会や地域で主体的に活躍できる人づくりを目的として、平成 23 年度から各区中央市民センターで事業を実施している。

①「ぼくらの学園」～子ども参画型社会をめざして～

＜青葉区中央市民センター＞（参加者延べ 235 名 小・中・高校生、地域住民）

中学生・高校生が自分たちでルール作りをして、運営・活動するという中高生による中高生のための居場所『ぼくらの学園』を市民センターにつくることを目的に福沢市民センターで実施した。平成 24 年度は、夏休み期間中に『子どもの自由空間ひまわり』と称して、子どもたちが自由に活動できるスペースを開放した。また、子どもたちの活動を支援してくれる地域住民を募るため、サポーター養成講座を実施した。

②「子どもによるアートな空間づくり」

＜宮城野区中央市民センター＞（受講生 15 名 小学 2～5 年生、講師及びアドバイザーとして東北芸術工科大学の准教授及び学生延べ 30 名）

地域の商店街（原町本通り商店街）で活用できるアート制作物を、子どもたちの意見や発想を活かした共同創作活動（ワークショップ 6 回）によって作製し、それらを一斉に披露する発表会を開催した。地域の方々から、賞賛や感謝の言葉がかけられ、実際の使用が検討されるなど、完成した作品を介して身近な社会と関わりをもつことができた。参加した子どもたちの中には、今後も自ら積極的に地域に関わっていこうとする意欲や姿勢が生まれた。

③「チャイルドボランティア『チャボ』」

＜若林区中央市民センター＞（参加者延べ 190 名 小・中学生）

誰かの役に立つことで社会・地域の一員として自分の存在の大切さを体感することができるよう、子どもたちにボランティア活動の機会をつくる事業。対象は本市民センター近隣の小学 4 年生～中学生で、平成 25 年 3 月現在 29 名が登録している。地域の団体や施設、ジュニアリーダーなどの協力を得て、月 1、2 回活動しており、平成 24 年度は、センター周辺の清掃、被災した畑のがれきひろい、仮設住宅へのお弁当の配達の手伝いなどを行った。

④「食を活かした仲間づくり」

＜太白区中央市民センター＞

（受講生 216 名：区内の小中学生と保護者、宮城農業高校・明成高校の生徒、アドバイザーとしての宮城大学食産業学部の学生、高校・大学の指導者・支援者、その他仮設住宅住民）

平成 23 年度に引き続き今年も宮城大学食産業学部附属坪沼農場の畑地の貸与を受け、大学・高校の指導のもと、伝統野菜の仙台白菜・仙台雪菜の作付け作業を実施、定植後は宮城農業高校の生徒が生育状況のチェックと除草等のケアを行い、その後収穫と試食会を行った。また、宮城大学の調理実習棟を会場に宮城大学教授石田光晴氏の指導の下、宮城大学の学生がアシスタントとなり、仙台白菜を食材とした調理実習を兼ねたワークショップも実施した。これと併せて太白区内の小中高生を対象に、今回定植した仙台白菜か仙台雪菜を使った「太白グルメ」のレシピを募集した。応募があった 11 作品は「太白グルメレシピ集」にまとめ、区内小中学校に配布した。

⑤「キッズ隊員への道 ～「自助・共助・公助」ってどんなこと～」

＜泉区中央市民センター＞（受講生 20 名 小学生）

寺岡市民センターにおいて、地域の市民企画員と子ども企画員が協働して、防災体験学習やキッズレスキューなどの企画を立て、「伊達な防災イベント」を開催した。当日は、キッズ隊員 20 名、寺岡小児童、地域諸団体、地域の方々など 200 余名が参加した。子どもたちが来館者にパンフレットを配布・案内をしたり、米粉のもちづくりコーナーなどで説明をしたり、周りの大人たちと共に自主的に活動する姿がみられた。学校以外の場所で、地域のために活躍する場を得、感謝の言葉をかけてもらったキッズ隊員たちは、「自分にもやればできる」「もっと喜んでもらえることをしたい」という意欲を高めた。

⑥「子ども参画型社会創造支援事業」にかかるワークショップ（中間報告会）及びフォーラム（成果報告会）

＜中央市民センター＞（合計参加者数 189 名）

各区中央市民センターで実施している当該事業の参加者や担当者を対象に、報告会や情報交換会等を実施することを通して各区の事業推進を支援する。平成 24 年度は、コーディネーターや助言者から各区事業の成果と課題についてアドバイスをいただき、事業のブラッシュアップを図った。また、年度末のフォーラムは、事例発表研究研修会（市民センター職員研修）に位置づけて実施した。

ワークショップでは、奥州市水沢青少年育成市民会議の大村千恵氏に「子どもの社会参画・居場所づくりについて」というテーマで講演していただき、フォーラムでは、各区事業の成果報告とともに、榴岡小学校の社会貢献活動について同校の児童と教師から発表していただいた。

【コーディネーター】新田 新一郎 氏（有限会社プランニング開 代表取締役）

【助言者】 澤藤 英樹 氏（元仙台市立中山中学校長）

小岩 孝子 氏（NPO 法人 FOR YOU にこにこの家 理事長）

渡邊 忠彦 氏（発明協会青少年創造性開発育成委員）

(4) 学び直しに係る高等教育機関との連携

<中央市民センター>

若者、子育て世代の親、地域の高齢者など、様々な世代の職に係るスキルアップを支援するため、高等教育機関と連携しながら、各世代の就業支援状況を把握し、その内容を踏まえ支援事業を企画・実施するもの。平成 23 年度に実施した仙台市内の就業支援状況の調査報告を踏まえ、平成 24 年度は以下の 2 つの事業を実施した。

◎ 事業① ホーム&キッチン&ダディ～仕事、家庭、ときどき料理～

<中央市民センター>

子育て中の父親世代を対象として、父親が料理を通じて家事に参加することで、家庭内分業について考えてもらうきっかけとし、ひいては母親の育児・就労支援へとつなげていくことをねらいとして、宮城学院女子大学（食品栄養学科 平本福子教授と平本ゼミの学生）と共催で、宮城野区中央市民センターにおいて料理講座を開催した。

開催日	内容	参加人数
2月22日(金)	・実技～チャーハンと白菜・肉団子スープを作る～ ・グループワーク（試食と感想発表）	12人
3月7日(金)	・実技～イワシの蒲焼き丼とキャベツ・わかめのさつと煮を作る～ ・グループワーク（試食と感想発表）	13人

◎ 事業② わくわくワークショップ～若者向けプレ就活講座

<中央市民センター> (参加人数 21 人)

就職活動前の若者を対象として、労働市場の現状を踏まえながら、自己の職業観や今後のキャリアデザインを考える機会を提供するための講座を、中央市民センターにおいて開催した（2月26日（火））。法政大学キャリアデザイン学部の児美川孝一郎教授を招き、「就職活動を控えた皆さんへ～キャリアデザインの紹介とこれからの生き方～」というテーマで講演していただいた。講演後は参加者同士でキャリアデザインを考えるグループ討議を行った。

(5) 地域づくり大学院

◎ 事業例 地域づくり学び隊

<中央市民センター> (年間 3 回実施 受講者 49 名 延べ参加者 177 名)

地域づくりを牽引するリーダーを育成するため、市民センターの市民企画講座参加者、地域団体等の市民や市民センター職員を対象として、地域づくりに関わる専門性を高める研修を実施する。平成 24 年度は、今後の地域づくりにおける課題等をフォーラム形式で学んだり、講話や事例発表を受けて自分の考えを方向づけたりする導入編として位置づけて実施した。

(6) 市民企画員養成・支援事業

◎ 事業例 市民企画員養成・支援講座

<宮城野区中央市民センター> (年間 4 回実施、延べ 20 人参加)

市民グループや個人に対して、社会教育・生涯学習事業の企画運営に関する知識・技

術の習得や、具体的に事業の実践を体験できる講座を開催した。民間における社会教育・生涯学習の普及・発展にあたる担い手を養成することを目的に、宮城野区社会教育・生涯学習のより一層の向上を図った。

(7) 学習成果社会還元事例研究

◎ 事業例 まなびごっこ

〈若林区中央市民センター〉（通年事業、延べ 3,059 人参加）

若林区内で活動する生涯学習指導者ボランティアグループ「まなびごっこ」がこれまでに培った知識や技術を生かして、若林区中央市民センターと共催で誰でも参加しやすい内容の講座・教室を開催した。

(8) その他の生涯学習研究事業

①IMAYO!! 支援事業

〈太白区中央市民センター〉（年間 25 回実施、延べ 108 人参加）

市民センター事業に積極的に若者がかかわることを目的として平成 17 年度に始まった企画団体で、サークルが立ち上がり、太白区中央市民センターを拠点として太白区内の「地域との交流」を意識した地域活動を展開している。

平成 24 年度には、定例となっている“クリスマスコンサート”（12 月 1 日に地下展示ホールで実施：観覧者 84 名）をはじめ、太白区中央市民センター祭“ながまち交流フェスタ 2012”では IMAYO!! のメンバーが中心となって「お化け屋敷」のブースを担当、多くの一般参加者から好評を博す等、地道に活動を続けている。

②泉区の社会教育を考える会

〈泉区中央市民センター〉（年間 6 回実施、延べ 90 人参加）

区内の社会教育について、区内嘱託社会教育主事や子どもに関わる関係機関の方々と考える機会を持ち、泉区の社会教育事業について活性化を図る。

2 広域規模の学習支援

(1) 広域規模の学習プログラムの実施

全市・区規模の学習支援、場合によっては複数の区の連携による取り組みを推進する。市政各般の領域に係る施策、市民の課題ニーズを考慮するとともに、地域に濃淡なく生涯学習が行われるよう学習プログラムをつくり、実施する。

① 仙台明治青年大学

<中央市民センター>

地区市民センターの老壮大学やシルバーセンターのせんだい豊齢学園を修了した高齢者（61歳以上の仙台市在住者）が学習をさらに深め、豊かな社会生活を営めるよう、自主的学習意欲の向上が図れるような学習会や大学祭などを開催する。本科生として6年間、その後研究生として引き続き籍を置くことができる。平成24年度は新入生80人が入学し、在籍者数は809人となった。

【主な活動】

活動	活動内容	年間回数	参加延人数
学習会	<ul style="list-style-type: none"> ○定期講座 太白区文化センター楽楽楽ホールを会場に、年間18回開催。1回あたりの平均出席者数は529人であった。政治経済、文化芸能、環境、健康などをテーマに、外部講師を招聘し実施した。 ○対話集会(2回) 「私の東日本震災から学ぶ」をテーマに、学生間で意見交換を行った。 ○大学祭(3回) 楽楽楽ホール、仙台市中央市民センターを会場に実施。サークル団体の活動発表の場となっている。 ○式典 (2回) <ul style="list-style-type: none"> ・入学式 ・修了・閉講式 	25	11,645
広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・学生間の情報共有を促進するため、学内広報誌「団欒」を発刊。 ・文芸誌「老学文苑」の発刊 	—	—
ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣小学校、児童館で昔遊びや囲碁・将棋、七夕飾り作り等を教えている。 ・近隣中学校で「仙台自分づくり教育」の一環として、キャリア教育の講師を務めた。 ・市民センター事業への協力や外部からの要請にも対応してきた。 ・学習会の度にワンコイン募金活動を行っている。 	—	—

② 秋の子どもの日事業

秋休み期間中の子どもの居場所作りとして、区拠点館で子ども向け事業を実施した。

開催日	主催館名	内容	参加者人数
10月6日(土)	青葉区中央市民センター	秋休み期間中子ども向け事業 子どもの居場所の提供と体験活動の機会を提供し、市民センターが生涯学習振興の拠点としての機能を推進する。	450
10月7日(日)	若林区中央市民センター	秋の子どもの日「ワカチュウ子どもランド」 小学生の秋休みに合わせ、工作や茶道など様々な体験の場を提供した。	322

③ その他の主な事業

館名	事業名	内容	開催日	参加延人数
青葉区中央市民センター	子どものための日本語講座	日本語を母語としない小学生、中学生に日本語を学習する機会を提供し、充実した学校生活を送れるように支援している。	年間 34回開催	319
	せんだい日本語講座	在仙の外国人等に、日常生活に必要な日本語習得の機会を提供するとともに、日本の伝統文化に触れ交流する場を設定することで、国際交流や多文化理解を促進している。	年間 135回開催	5,900
宮城野区中央市民センター	宮城野学講座	歌枕として多くの都人の憧憬を誘い、多数の和歌に詠まれるなどした宮城野について、より広く知られ、後世に継承していけるようにするための、市民企画講座を開催した。	9月8・29日 11月25日 3月17日	160
	未来に伝えたい宮城野の記憶	人々の暮らしや、まちの変遷・逸話等の市民の生活を後世に伝えるための、資料(アーカイブ)づくりにつながるような、市民企画講座を開催した。	3月 9・16日	20
若林区中央市民センター	沖野でザリガニ釣り	親子を対象に沖野地区の用水路でザリガニ釣りを楽しむ事業を開催した。沖野市民センターと共催。	7月21日	70
	沖野学園	学校支援地域本部と市民センターが連携し、沖野中学校区の児童生徒を対象に、地域で様々な職業体験の機会を提供した。	8月 7～10日	450
	私の地方史研究	主に仙台市内を対象とした、歴史および民俗調査を進めるための基礎的な学習で、一万文字の論文及び調査報告書の執筆を展望して、その初年度として取り組んだ。	10月27日 ～3月23日	56
	バリアフリースポーツ「ボッチャ」普及事業	年齢・性別・障害の有無に関わらず楽しめるスポーツ「ボッチャ」を体験できる場として、月1回の定例会及び年1回の大会を開催した。	4月～3月	194

	復興支援ござ in わかばやし	若林区の魅力である水辺空間を生かして、作る・食べる・見る・聞くを楽しむイベントに共催として加わり、設営やジュニアリーダーの参画などで協力した。若林区の区民協働まちづくり事業。	5月26日	800
太白区中央市民センター	区民協働まちづくり事業	生出地区と長町地区で実施している学コミの団体を中心とした地域住民同士の交流を通じて地域間・世代間の交流を促進する。	5～3月	320
	あすと長町地域活性化事業	学校だけではできない様々な世代と一緒に参加し、盛り上がるスポーツ事業等を通して、地域住民がお互いに結びつき、互いの情報を共有し、地域活性化の一助となるような事業を展開する。併せて市民協働型の事業の推進を図った。	12月～1月	1,200
泉区中央市民センター	みんなでジャンプ	地域の小学生を対象にスポーツをとおした地域交流と世代間交流を図る。また、スポーツ関係団体との連携を行い事業拡大を図った。	1月19日	300

(2) ボランティア養成等人材育成

① 託児ボランティア養成

<中央市民センター>

「いつでも」「どこでも」「誰でも」学習できる「学びのバリアフリー事業」の一環として、子育て中の保護者が安心して学習できるように講座に託児を付設している。

託児付き事業の託児室は、市民参画による市民のためのものとしてボランティアの主体的な運営を前提としており、その中で活躍する託児ボランティアを支援するとともに、新たな託児ボランティアの養成・育成のための事業を実施した。

【研修内容】

事業名	内容	開催日	受講者延人数
託児ボランティア養成講座	市民センター託児ボランティアとしての活動に必要な知識や技術を学んだ。 ・オリエンテーション「託児ボランティアとは・・・」 ・移動学習「子どもを取り巻く環境①保育所見学」 仙台市桜ヶ丘保育所見学 ・講話「子どもを取り巻く環境②遊びと発達」 講師:仙台市落合保育所 ・講話「子どもの病気と事故」 講師:泉区家庭健康課 ・話し合い、実技「今後の活動に向けて」	9月6日 9月13日 9月20日 9月27日 10月4日	26
託児ボランティア養成講座 in 宮城野	より地域に密着したボランティアを育成するため、区中央市民センターを会場として開催。 ・オリエンテーション 「託児ボランティアとは・・・」 ・講話「子どもを取り巻く環境①あそびと発達」 講師:仙台市支倉保育所 ・移動学習「子どもを取り巻く環境②保育所見学」	1月17日 1月24日 1月31日 2月7日 2月14日	8

	仙台市高砂保育所見学 ・講話「子どもの病気と事故」 講師:宮城野区家庭健康課 ・話し合い、実技 「今後の活動に向けて」		
託児ボランティア フォローアップ研 修	より質の高い託児室運営のため、託児ボランティア の資質や技術向上に役立つ研修を実施した。 ・すぐできる楽しい遊び 講師:高砂保育所 地域子育て支援室 職員 ・コミュニケーションをしながらの体ほぐし 講師:スポーツプログラマー	6月26日 12月4日	80
託児ボランティア 活動支援 (連絡会・調整会 の開催)	市民センターで養成された託児ボランティアに対 し、連絡会、託児調整会等の開催により、日常の活 動を支援した。	5月16日 10月16日 3月8日	91

【託児ボランティアグループ一覧】(平成 25 年 3 月現在)

グループ名	設立年月日	最寄の市民センター	会員数
さくらんぼ	H14.5.8	青葉区中央市民センター	3
ひまわり	H9.8.1	三本松市民センター	10
プーさん	H3.1.1	水の森市民センター	5
てっこの会	H6.4	寺岡市民センター 他	9
ポッケの会	H2.3.25	広瀬市民センター	10
アリスの会	H5.7	中央市民センター	5
ぐるんぼ	H18.12	中央市民センター	5
にんじん	S59.7.9	東部市民センター	5
ハイジ	H22.4	若林区中央市民センター	8
クリップ	H9.4.1	沖野市民センター	8
でんでんむし	H12.3.22	太白区中央市民センター	10
こんぺいとう	H7.10.1	茂庭台市民センター	3
たんぼぼ	H4	富沢市民センター	10
ちゅうりっぷ	H13.3.14	泉区中央市民センター	22
キャンディ	H22.4	南光台市民センター	8
合計 15グループ / 会員数 121人			

② 図書ボランティア活動支援

＜中央市民センター＞

全市民センターのうち 31 館の図書室で、市民ボランティアの協力により図書の貸し出し等の運営を行っている。

【図書ボランティア一覧】（平成 24 年 9 月末現在）

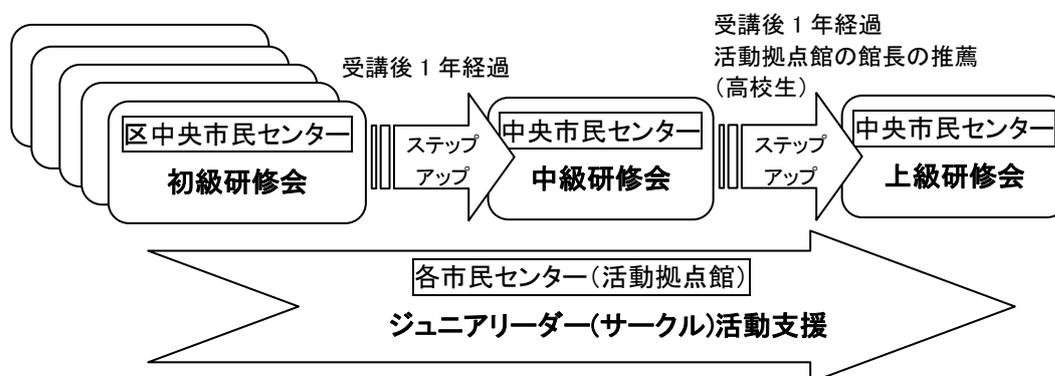
グループ名	活動館	ボランティア人数
さくらさくら	北山市民センター	11
カンナの会	福沢市民センター	12
図書ボランティアぼけっと	三本松市民センター	11
葉の会	落合市民センター	19
図書ボランティア	片平市民センター	7
(グループ名なし)	水の森市民センター	23
ひまわり	貝ヶ森市民センター	8
(個人登録)	中山市民センター	7
コスモス文庫	大沢市民センター	13
たんぽぽ	吉成市民センター	14
図書ボランティア	木町通市民センター	5
ピーターパン	西山児童館	9
図書ボランティアしおりの会	岩切市民センター	13
(グループ名なし)	田子市民センター	6
ターンぽっぽ	東部市民センター	11
かすみそう	高砂市民センター	5
図書ボランティアみちくさ	荒町市民センター	10
七郷市民センター児童館図書ボランティア	七郷市民センター	10
(個人登録)	沖野市民センター	8
地域ボランティア	若林市民センター	2
ブックフレンド中田	中田市民センター	13
八木山図書ボランティア委員会	八木山市民センター	46
図書ボランティア縄文 他	山田市民センター	24
富沢市民センター図書ボランティアの会	富沢市民センター	40
東中田図書ボランティア	東中田市民センター	7
茂庭台図書ボランティア	茂庭台市民センター	11
西多賀図書ボランティア	西多賀市民センター	10
図書ボランティアコスモス	八本松市民センター	8
ブックポケット	柳生市民センター	7
松森図書ボランティア	松森市民センター	12
そよかぜ	桂市民センター	8
合計 31グループ / ボランティア数390人		

③ ジュニアリーダー育成・支援

ジュニアリーダーとは、青少年ボランティア活動の一環として、仙台市教育委員会の支援を受け各市民センターを拠点として活動している中学生・高校生である。

ジュニアリーダーの主な活動内容は、地域の子ども会活動を活性化するための支援であり、このような活動を通して、地域全体の活性化に貢献している。また、子供を対象としたイベントの企画・実施やその他のボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした活動が、ジュニアリーダー自身の人格形成にも役立っている。

市民センターでは、ジュニアリーダーを育成するために、各区中央市民センターにおいて初心者を対象とした初級研修会、中央市民センターにおいてステップアップ研修となる中級研修会・上級研修会を実施している。さらに、ジュニアリーダーの活動の拠点となっている市民センターにおいては、活動の支援や、ジュニアリーダーを指導者とした事業を行っている。



市民センター全体を通して、ジュニアリーダー一人ひとりが段階的に認定を受けながら、子ども会活動全般についての専門的な知識や技能を身に付け、自覚と責任を持って活動できるように支援し、さらに地域とのつながりの中で活動するジュニアリーダーを支援することによって、子ども会をはじめとする地域の活動を活性化している。

【ジュニアリーダーサークルの主な活動】

自主企画（ジュニアと遊ぼう、交流会など）、定例会及び連絡会、各種研修会
子ども会、市民センター、その他の機関からの要請による活動

- ・子ども会行事の実施及び企画の補助
- ・区民まつりへの参加
- ・市民センター事業への補助
- ・児童館行事のスタッフ など

○ジュニアリーダー初級研修会

新たにジュニアリーダーを志す中学生・高校生に対し、青少年のボランティア活動をとおして、地域の子ども会活動の活性化を図るために必要な、基本的な知識と技術を習得する機会を提供した。

また、区内のジュニアリーダー相互と、新たにジュニアリーダーに加わる受講生との親睦を図り、今後の活動への意欲を高める。

主催館名	開催日	参加人数
青葉区中央市民センター	7月8日(日)	58
宮城野区中央市民センター	8月19日(日)	18
若林区中央市民センター	12月16日(日)	15
太白区中央市民センター	6月23日(土)	14
泉区中央市民センター	12月2日(日)	45

○ジュニアリーダー中級研修会

地域の子ども会の活性化と青少年のボランティア活動を積極的に推進するため、初級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている中学生および高校生で、市民センターの推薦を受けた者を対象に、より高度な知識と技術を習得するための研修を行なう。平成24年度は、仙台市子ども会連合会主催「2012 東北地区ジュニアリーダー大会 in 仙台」(会場：泉岳少年自然の家)の開催に合わせて実施した。

＜仙台市中央市民センター＞ (共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会)

8月3日(金)～5日(日) 参加者数 74人

- ・各県の活動発表と意見交換
- ・講義と意見交換「安全について」
- ・野外活動
- ・ダンス、ゲーム、広報紙の作成
- ・KYTの実践
- ・ジュニアリーダーの役割

○ジュニアリーダー上級研修会

青少年のボランティア活動と地域の子ども会活動の一層の振興を図るために、仙台市ジュニアリーダー全体をまとめ、リードする立場に立つべき高校生ジュニアリーダーの資質向上と技能の研鑽のための研修を行なう。

中級研修会を修了し、引き続きジュニアリーダーとして活動を行なっている高校生又は高校生の年齢に相当する者で、かつ活動実績・資質ともに上級リーダーとして適格であり、市民センターの推薦を受けられる者を対象とする。

平成24年度は、仙台市子ども会連合会主催「2012 東北地区ジュニアリーダー大会 in 仙台」の開催に向け、大会主催者であるジュニアリーダーの企画力・運営力を高めるための研修プログラムを実施した。

＜仙台市中央市民センター＞ (共催：仙台市嘱託社会教育主事研究協議会)

参加者数 23人

○7月15日(日) 会場：中央市民センター

- ・ジュニアリーダーの活動について

- ・サークル活動(集団)運営のあり方
- ・安全に活動するために

○7月16日(月) 会場：泉岳少年自然の家

- ・東北地区ジュニアリーダー大会の野外活動に向けて (泉ヶ岳周辺の実地踏査)

【ジュニアリーダーサークル及び活動拠点館一覧】(平成25年3月現在)

区内連絡会	No	サークル名	登録人数	活動拠点館名
青葉区(98人) 連絡会『星のすなごけい』 (青葉区中央市民センター)	1	MRVCくまっこ	35	広瀬市民センター
	2	かめ吉	3	福沢市民センター
	3	朝実巣あかよばく	6	北山市民センター
	4	SKY	28	中山市民センター
	5	みずの森一ダー'S	16	水の森市民センター
	6	Blue Leaf Spirits	10	青葉区中央市民センター
宮城野区(35人) 連絡会『Lovers』 (宮城野区中央市民センター)	1	高砂フレンズクラブ	7	高砂市民センター
	2	岩切ガンキリーズ	2	岩切市民センター
	3	鶴ヶ谷YOURSELF	17	鶴ヶ谷市民センター
	4	幸町Fortune	6	幸町市民センター
	5	With Us 宮城野	3	宮城野区中央市民センター
若林区(57人) 連絡会『田んぼっ区』 (若林区中央市民センター)	1	郷郷七郷	7	七郷市民センター
	2	六郷村	0	六郷市民センター
	3	ピ野沖ヲ	2	沖野市民センター
	4	JARO	22	若林区中央市民センター
	5	ワンマイル荒町	17	荒町市民センター
	6	若林にゃくりん	9	若林市民センター
太白区(51人) 連絡会『ANON』 (太白区中央市民センター)	1	なかだかな	18	中田市民センター
	2	おいでください	0	生出市民センター
	3	にしたがつつまん	14	西多賀市民センター
	4	ながまっくる	19	太白区中央市民センター
泉区(104人) 連絡会『ざわざわ森』 (泉区中央市民センター)	1	黒松ファミリー	6	黒松市民センター
	2	南光台アドバルーン	7	南光台市民センター
	3	根白石カリヨン	23	根白石市民センター
	4	将監くれよん	17	桂市民センター
	5	向陽台ぱびふペパレット	0	松陵市民センター
	6	長命ヶ丘巣子っぷ	8	南中山市民センター
	7	高森流星サークル	4	高森市民センター
	8	寺岡流星サークル	9	寺岡市民センター
	9	七北田 JL サークルありす	22	泉区中央市民センター
	10	みちのく松陵	0	松陵市民センター
	11	加茂プレゼント	4	加茂市民センター
	12	パズル鶴が丘	4	松森市民センター
市全体 (345 人 / 33 サークル) 連絡会『ずんだ』(中央市民センター)				

④ インリーダー研修会

子ども会活動の充実を図るため、子ども会のリーダーとして活躍する児童及び世話人を対象に、子ども会活動についての知識やレクリエーションなどの実技を学習するための研修会を実施した。

区	開催回数	参加延人数
青葉区	11	503
宮城野区	8	388
若林区	6	335
太白区	10	613
泉区	23	1,467
合計	58	3,306

⑤ 実習受入

○社会教育実習生

宮城教育大学、東北学院大学からの依頼を受け、各大学の社会教育主事資格取得を目指す学生を社会教育実習生として各区中央市民センターで受け入れ、公民館の概要や講座の企画立案・実践について指導している。

○児童・生徒の職場体験実習

小学生、中学生の職場体験実習を受け入れ、市民センター業務に関する学ぶ機会を提供した。

3 学校・地域連携推進

学校や地域団体等とネットワークをつくり、様々な人たちが連携して課題に取り組めるように必要に応じて、つなぎ手、支え手の役割を果たす。

(1) 学びのコミュニティ推進事業支援

学校や市民センターが事務局となり、地域の様々な団体が連携し、中学校区または小学校区の児童、保護者、住民等を対象として、子どものすこやかな育ちを支援する地域のネットワークをつくり、様々な事業の実施をとおして子どもを育む地域づくりを行っている。

3年間、市から事業委託を受け、委託終了後は自主実施となるが、市民センターでは、長く組織に関わり、活動支援を行っている。

【平成24年度に市民センターが関わった主な事業(委託期間中の事業)】

館名	事業名	概要	年間実施回数	参加延人数
太白区 中央市民 センター	東なかだ 学びのコミュニティ 推進事業	袋原中学校区の各団体の情報交換をしながら、事業の計画・実施をすることで、袋原中学校区内の児童・生徒や保護者、地域住民、各団体とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。	2	93
	湯元地区 学びのコミュニティ 推進事業	湯元小学校区の各団体と協力して事業を実施することで地域全体で子どもを育てていくきっかけをつつた。 ・10月21日 がんばれ秋保っ子キックベースボール	7	218

	推進委員会 (がんばれ秋保っ子)	大会(参加者 80 名) ・1 月 12 日 秋保カルタ大会(参加者 138 名) ・秋保地区行事カレンダー作成		
	生出地区 学びのコミュニティ 推進事業 推進委員会 (おいで里ネット)	子どもの9年間の育ちを地域とともに支えることを目標に、生出中学校区を活動エリアとして小中3校・同PTA・太白区中央市民センターを中心に設立。平成24年度は震災復興をテーマに子ども達が地域住民とともに学ぶ機会として下記の事業を実施した。 ・生出・長町交流事業(100名:赤石分校) ・被災地交流学习(22名:石巻市雄勝町)	4	122

【委託終了後の事業に対する継続的支援】

館名	事業名	概要	年間実施回数	参加延人数
青葉区中央市民センター	学校地域連携支援事業	市民センターが保有する広範な学習情報や事業データの体系的な整理を引き続き行うとともに、課題を抱えながらも主体的な事業運営に取り組む各実施団体について、継続的に活動するための支援及び連絡会を開催した(3月16日)。	1	19
	旭ヶ丘わんぱく森 ² がっこ	旭ヶ丘小学区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・コピー機になってみよう、旭ヶ丘ホテルまつり 旭ヶ丘夏まつり、デイキャンプ、遠足	5	249
	かみすぎねっと支援	上杉山通小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・おもしろ子ども会、Gakkouへ泊まろう ほか	5	1,152
	まちがっこ	東二番丁小学校・幼稚園をはじめ、本センター周辺の関係団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・花あるまちづくり、どろんこ遊びをしよう! 東二夏祭り、学校に泊まろう ほか	6	320
	ひろせ山がっこ	広瀬小学校区、愛子小学校区の学校関係団体・地域団体等との連携により、子どもの健やかな育ちに資する事業を実施した。 ・学校に泊まろう!、カルタとり大会	2	127
宮城野区中央市民センター	榴岡かいわい学びのコミュニティづくり推進事業	仙台駅東口かいわいの幼児、小学生を対象として遊びの広場を提供した。また、地域の住民や中学生、ボランティア等の参加も促し、異世代間の交流を図った。 ・9月1日 第11回つつじがおかワイワイ夏まつり ・1月26日 第6回つつじがおかワイワイ冬まつり	10	800
若林区中央市民センター	南小泉子どものふるさとづくり推進事業	学びのコミュニティ推進事業で立ち上げた「南小泉パパネット」が南小泉小学校の児童や保護者を対象に実施する事業への支援を行った。 ・7月21日 なつなつ南小 ・2月24日 ふゆふゆ南小	2	418
	区内小学校区合宿支援	学びのコミュニティ推進事業から続く「通学合宿!連坊!」など区内小学校の合宿事業を支援した。 ・7月21~22日 学校に泊まろう会(蒲町小) ・7月28~29日 学校に泊まろう会(大和小) ・8月18~19日 キャンプ in 南材(南材木町小) ・10月3~5日 通学合宿!連坊!(連坊小路小)	4	380

館名	事業名	概要	年間実施回数	参加延人数
太白区 中央市民 センター	ながまち 学びネット	長町中学校区(長町小・長町南小・鹿野小学校区)内児童・生徒や保護者、地域住民とともに、子どもたちの健全育成を目的とした参加体験型の活動を行い、地域コミュニティを深めていく。 ・8月10～11日 こども防災キャンプ(参加者24名) ・12月8日 こどものまち・ながまち(参加者約263名)	8	287
	とみざ和 がっこ	富沢中学校区の各団体と協力して事業を実施することにより、地域全体で子どもを育てていくきっかけをつくる。 ・7月8日(日) オープン富中(参加者119名) ・2月10日(日) こどものまちin富中「かしわCITY」(参加者532名)	17	651
泉区中央 市民セン ター	学びのコミ ュニティ支 援事業 (松森編)	松森市民センターが核となった「まなこみネット鶴が森推進委員会」を支援した。 7月16日 どんどこ！巨大紙相撲 鶴が森場所2012	1	112
	学びのコミ ュニティ支 援事業 (南中山 編)	南中山市民センターが核となった『まなびネット「いずみ中山」』を支援した。 ・9月9日 万人淵での川遊び ・12月15日 門松づくり ・2月23日 南中山・北中山小学生交流会	9	126
	区内学コミ 連絡会	区内で活動している各学コミ委員会と情報を共有し、学コミの活動の促進ならびに拡大を図った。	1	35
	ふれあい 学びネット い・ず・み 「あそびの 天国」	泉区中央市民センター全館を会場に、遊びによる交流を図る、子どもの居場所づくりの事業を行った。 2月17日	1	485
	ふれあい 学びネット い・ず・み 「キャンプ だホイ！」	七北田小学校を会場に、七北田中学校区の小学生(高学年)を対象としたキャンプを実施した。 8月9日～10日	1 (2日 間)	181
	ふれあい 学びネット い・ず・み 推進委員 会	七北田中学校区内の諸団体が連携し、青少年健全育成事業の展開を図るとともに、子どもの居場所づくり事業について検討協議した。	11	230

(2) 嘱託社会教育主事研究協議会区部会との共催事業

嘱託社会教育主事（社会教育主事資格を持ち学校に在籍している教員）研究協議会の各区部会と各区拠点館の共催による事業を通して、子ども達の健全育成や地域コミュニティの活性化を図り、地域で子どもを育てる環境づくりを推進している。

館名	内容	年間実施回数	参加者人数
青葉区中央市民センター	7/4 青葉区社会教育推進連絡会研修会 7/8 ジュニアリーダー初級研修会 9/1 ジュニアリーダー交流会研修会 9/9 子ども会対象事業「青葉チャレンジキッズ in 科学館」 11/25 肩甲骨ほぐしあくびあくび体操で笑顔UP！健康UP！	5	425
宮城野区中央市民センター	8/19 宮城野区ジュニアリーダー初級研修会・交流会 11/29 嘱託社会教育主事・地域連携担当職員・市民センター職員研修会 1/19 宮城野区インリーダー研修会事前打合せ会	3	90
若林区中央市民センター	12/2 「ものづくり体験教室」の開催（クッキーづくり、ミニブーケ作り、和とし本づくり、和菓子づくり、凾制作、竹細工教室）	1	122
太白区中央市民センター	6/23 ジュニアリーダー初級研修会 7/21 自然体験活動 8/22 地域連携ネットワーク協議会 12/15 インリーダー研修会事前打合せ会 1/19 第8回太白綱取り物語（ミニ綱引き大会）	5	1,345
泉区中央市民センター	12/2 泉区ジュニアリーダー初級研修会 1/19 みんなでジャンプ	2	345

(3) 地域の絆づくり推進事業

東日本大震災における体験や記憶を次世代に継承し、震災後の地域の復興・再生に資する市民センター事業を実施し、地域力・市民力の醸成・発展を図ることを目的とする。具体的には、市民センター地区館において、大学・企業・NPO等と協働し、災害や環境、コミュニティ再生、防災・減災教育などをテーマにして、専門性の高い事業や成果を大きく発信できる事業などを、地区館の提案型事業として実施する。

平成24年度の実施状況は下記のとおりである。

館名	事業名
片平市民センター	片平地区・みんなでわいわい街づくり、絆づくり
広瀬市民センター	きずなカフェ～めざすのは人と地域の輝き～
宮城西市民センター	ふるさと食だより
大沢市民センター	大沢地区地域防災安全ネット
落合市民センター	みんなの力で地域防災・減災
幸町市民センター	一人ひとりにやさしい防災の輪—防災でつながる人と人—
七郷市民センター	あのときを忘れない—震災の記憶
八木山市民センター	探そう、つくろう、「八木山新名物」
高森市民センター	新しいふるさとづくり事業

4 学習情報収集・提供事業

市内地区館が収集している地域情報を含め、広く情報を集積し、多様な媒体に整理・保管し、広く市民が活用できるよう公開する。

(1) 学習情報提供システム

市民の学習意欲に応え、的確な情報提供サービスを展開することで、効果的に市民の学習活動を支援するため、中央市民センターと各地区 58 館（常駐職員のない馬場・湯元以外の全館）の市民センターとがコンピューターでネットワークを結び、生涯学習に関する、より新しい情報を提供するとともに、市民の学習相談に応じることを目的として、平成 12 年 3 月より現行システムを運営している。

＜ 仙台市生涯学習情報提供システムの特色 ＞

- ・ 各市民センターで同じ情報を提供することによって、市民は身近な市民センターで学習情報を取得できる。
- ・ インターネットにより、家庭や職場のパソコンから情報を取り出すことができる。（個人情報についての制限有り）

【仙台市生涯学習情報提供システム登録情報数】

情報種類	平成 22 年度末現在	平成 23 年度末現在	平成 24 年度末現在
団体・サークル情報	1, 126	989	956
人材・講師	615	541	519
事業	64	59	55
合計	1, 741	1, 589	1,530

【平成 24 年度 学習情報提供・相談件数】

相談内容	窓口・電話受付	インターネット経由	合計
施設	0	0	0
団体・サークル	58	33	91
事業・イベント	5	1	6
人材・講師	4	9	13
その他	3	0	3
合計	70	43	113

【平成 24 年度 インターネット関連アクセス等件数】

市民センター全般	58,050,686 件	学習情報検索	329,762 件
年間概算閲覧者数	716,941 人	1 日あたりの閲覧者数	1,941 人
年間閲覧頁数	3,901,174 頁	1 日あたりの閲覧頁数	11,408 頁

(2) 市民センターホームページ(ブログ)の運営

URL : <http://www.stks.city.sendai.jp/sgks/WebPages/index.html>

仙台市市民センターのウェブページを開設し、市民センターに係る各種のデータを公開するとともに、学習情報提供システムの情報を検索できるページを設け、広く学習情報を提供している。

また、ホームページ内では、全市民センターがそれぞれブログを公開している。

<地区館のブログの例>



(3) 市民センター事業ガイド

講座等参加者の募集中、募集予定がある事業について、区ごとにまとめ、毎月1回発行して、市民への情報提供を行っている。

(4) その他の学習情報提供事業

館名	事業名	概要	実施日等
若林区中央市民センター	若林区歳時記情報発信事業	写真撮影ボランティアの撮影調整のための打合せを4回開催し、地域の催事や四季の風景等のほか被災地の復興や地下鉄東西線工事の進捗等の様子の撮影を随時行った。撮影した写真は、平成25年度から市政日より若林区版で街の様子を紹介に活用することにした。	随時
太白区中央市民センター	コミュニティFM連携学習情報提供事業	「エフエムたいはく」と連携して、太白区内市民センターの生涯学習事業や地域情を紹介。本市民センター事業で養成した、番組サポーターが学習情報の提供を行った。	通年

5 職員研修

市民センターの事業に携わる職員を対象に、必要な資質の向上を図るための各種研修を実施している。

【研修内容】

研修名	実施日	受講対象	概要	参加人数
新任職員研修会	4月25日(木)	・新任の市民センター職員 ・区役所関係課職員等	主に、市民センターの運営方針や事業の概要等について体系的に学ぶことをねらいとする。平成24年度は、上記に加え、研修内容をグループで振り返ることを通して、研修内容の定着や受講者間の意見交流を実施した。	58
館長研修会	12月14日(金)	・市民センター館長 ・希望する市民センター職員	市民センターの役割として期待される、地域づくりや人づくりを推進するために、館長として必要な知見を広げるとともに、意識の向上を図る。平成24年度は、地域全体で子どもの健やかな育ちを支える学びの環境づくりの重要性について研修を深めた。	55
事例発表研究研修会	2月2日(土) 16日(土) 23日(土)	・市民センター職員 ・区役所関係課職員等	区拠点館で実施している先進モデル事業、各地区館で実施している重要課題解決のための事業など、時代の流れに対応した事業の分析・検証を行う。また、職員を対象にその結果をふまえた研修を実施することで、意識の向上や、事業企画運営に関するスキルアップを図る。平成24年度は、区拠点館で実施している教育重点3事業の成果報告会と併せて3回実施した。	72
市民センター情報セキュリティ研修	5月10日(木) 30日(水) 31日(木) 6月5日(火)	(公財)ひとまち交流財団職員	市民センター職員全員を対象に、情報セキュリティに関する基礎的な知識を学ぶ研修を実施した。	303

6 仙台市公民館運営審議会

社会教育法第29条、仙台市市民センター条例第13条に基づき、市民センターにおける各種の事業の企画実施につき調査審議を行う、本市が設置するすべての市民センターに共通の公民館運営審議会として設置している。

現委員は15人で、任期は平成23年11月1日から平成25年10月31日までの2年間となっている。

【委員名簿】〔平成25年8月1日現在〕

氏名	勤務先・所属団体(役職名)
跡部 薫	仙台市議会議員
阿部 重樹	東北学院大学経済学部 教授
石井山 竜平	東北大学大学院教育学研究科 准教授
大泉 太由子	(公財)東北活性化研究センター調査研究部専任部長兼主席研究員
小岩 孝子	特定非営利活動法人 FOR YOU にこにこの家 理事長
小松 州子	前仙台市市民活動サポートセンター長
齋藤 純子	NPO法人せんだい杜の子ども劇場代表理事
佐藤 直由	東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科長
○佐藤 憲子	仙台市社会学級研究会 顧問
照井 栄一	元 仙台市市民センター館長
傳野 貞雄	仙台市連合町内会長会会計理事
◎梨本 雄太郎	宮城教育大学教職大学院教授
堀越 清治	仙台市荒町小学校校長(仙台市小学校長会)
松村 弘美	(有)プランニング開
森 忠治	舞台芸術プロデューサー・ワークショップデザイナー せんだい舞台芸術復興支援センター事務局長

◎:会長 ○:副会長 敬称略・50音順

【近年の審議内容（平成14年度～平成24年度）】

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成15年 10月7日	提言	市民センターにおける子どもの事業のあり方について	1 子どもの事業に取り組む課題と視点 2 ジュニアリーダーの育成と活動支援 3 学社連携・融合事業について 4 学校週5日制に対応した事業について
平成17年 9月12日	提言	市民センターにおける市民参加と市民協働の推進について	1 市民企画委員のプログラムづくりについて 2 市民センター運営における市民の参加について 3 市民参加を広げる事業活動を目指して
平成19年 10月30日	答申	市民センターの施設理念と運営方針の見直しについて	1 見直しの背景 2 見直しにあたっての考え方 3 市民センターの施設理念と運営方針

提出日	種別	テーマ(題名)	主な内容
平成 21 年 10 月 13 日	報告	審議の経過報告	1 今期審議会のテーマ設定と議論の経緯について 2 経過報告のまとめについて <これまでの審議内容(各委員の意見)の概要> 1 市民センターの区への移管について 2 連携事業の調査から見てきたもの <市民センターが大切にしてきた社会教育の価値とは> (梨本雄太郎委員) <区行政との「融合」をめぐる> (石井山竜平委員)
平成 22 年 3 月 16 日	意見	「次期行財政改革計画(素案)」に対する意見書	区役所への移管については課題や懸念があることから、それらを解決・解消した上で判断するべきと考える。
平成 22 年 8 月 31 日	提案	市民センターを拠点とした新しいまちづくりの提案 - 仙台プラン -	<市民センターを拠点とした新しいまちづくり> 1 意識を変える 2 人材発掘・育成とネットワーク化 3 市民の活動の場を生み出し支援する <新しいまちづくりに向けた市民センターの新たな一歩/今後の取り組み[提案] / 仙台プラン対応事業案> 1 住民参画・問題解決型学習事業 2 子ども参画型社会創造事業 3 学社連携・既存の事業範囲枠を超えた公共施設の連携事業
平成 23 年 1 月 25 日	意見	「市民センターを活かした地域づくりの推進」に関する意見書	1 検討の進め方について 2 組織見直しをめぐる課題について

【平成24年度の審議経過】

開催日	会議種別	協議議題
5 月 11 日(金)	臨時会	審議:仙台市市民センター事業の評価のあり方について
5 月 23 日(水)	定例会	審議:仙台市市民センター事業の評価のあり方について
7 月 25 日(水)	定例会	審議:仙台市市民センター事業の試行評価(関係者ヒアリング等)
8 月 29 日(水)	定例会	審議:仙台市市民センター事業の評価のあり方について(試行的評価にかかる報告書案の検討)
11 月 28 日(水)	定例会	審議:(1)仙台市市民センター事業の評価のあり方について ①試行的評価の報告書案について ②答申案作成に向けて (2)「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の総括に向けて
1 月 23 日(水)	定例会	審議:(1)仙台市市民センター事業の評価のあり方について (2)「仙台市市民センターの施設理念と運営方針」の総括に向けて
3 月 27 日(水)	定例会	審議:仙台市市民センター事業の評価のあり方について ①「仙台市市民センター事業の評価のあり方について(答申)」(案)について ②平成 25 年度の評価活動について 報告:(1)平成 25 年度からの市民センターの指定管理者について (2)平成 25 年度の事業について